血液内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の臨床研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、臨床研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針、疫学研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	**JALSG 参加施設に新たに発生する全 AML、全 MDS、全 CMML 症例を対象とした 5 年生存率に関する観察研究（前向き臨床観察研究）**
担当科等	血液内科
研究責任者	血液内科　（職名）特任教授　（氏名）三輪啓志
研究の意義・目的	**国内の急性骨髄性白血病（AML）および骨髄異形成症候群（MDS）、慢性骨髄単球性白血病（CMML）の 5 年生存率、並びに新規薬剤レナリドミドと脱メチル化薬治療の実施状況を明らかにすること**を目的としています。
対象となる患者さん	2012 年から 2015 年までに AML、MDS、CMML と診断された患者さん
研究の方法	**（1）MDS 患者の 5 年生存率** **（2）MDS 患者に対する新規治療（レナリドミドおよび脱メチル化薬）の実施状況** **（3）国内 AML、MDS、CMML の年齢、性別、病型スペクトラム** **（4）既知の AML と MDS、CMML 予後因子による症例層別化の可能性の確認** **（5）AML 患者の 5 年生存率** **（6）AML209 登録例と非登録例の生存の比較** **（7）CMML 患者の 5 年生存率** **（8）CMML 患者に対する新規治療（脱メチル化薬）の実施状況**
研究期間	2012 年 8 月 1 日　～　2017 年 6 月 30 日
個人情報の取り扱い	利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 診療情報などの本研究への利用を拒否される方は、下記問い合

	わせ先まで申し出てください。
その他	
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部内科学講座（血液内科） 担当者：（職名）特任教授　（氏名）三輪啓志 電話 0561-62-3311（内線 7113）